

主な記事	
・26年度最低賃金 伸び率縮小	2面
・若手農業者の確保進まず	3面
・技能検定試験問題と正解	4-5面
・丸山2機種 環境省助成対象に	7面
・中古農機フェア実績	8面

第
761
号

全農機商報

昭和38年8月20日第三種郵便物認可

令和8年8月15日(土曜日)
毎月1回15日発行

発行所
全国農業機械商業協同組合連合会
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2の6
森芳ビル4階 電話03(3863)7788(代)
編集発行人 田中宏樹 FAX03(3863)7785
購読料 1ヵ月100円(送料共)
URL <http://www.zennouki.org>

第32回兵庫県中古農業機械フェア

7月10・11日開催



タマ不足の中売上
は過去最高を更新

◇「信頼第一」品薄でも出展基準を維持／三菱製農機は出展見送り
第32回兵庫県中古農業機械フェアが7月10日と11日の2日間に行われ開催された。今年の会場は県南部に位置する河西市の県立フラワーセンター駐車場。梅雨の大雨や大型台風が発生などで、一時は開催が危ぶまれたが、梅雨は開催前々日の8日に明け、大型台風も兵庫県には直接影響しなかったため、無事に開催することができた。

中古農業機械は全国的に品薄な状況が続いているが、出展条件は例年通りの基準を維持。さらに、今回は三菱製農機の出展を見送った。こうした中でも、トラクタ41台をはじめ計354台を出展し、トラクタはキャビン付が1台のみだったが、31台成約するなど成約台数は計183台、売上金額は前年比103・8%の9678万円となり、売上金額は4年連続で過去最高を更新した。

抽選となる初日の午前中は多くの来場者で賑わい、トラクタ・コンバイン・田植機の合計成約率は8割を超え、中古農機需要の高さを改めて実感する展示会となった(3面と8面に関連記事)。



ヤンマー史上

最大×高速
138馬力 2.10刈取
m/秒*

※YH6135…2.10m/秒、YH7135…1.9m/秒

オートコンバインは新フェーズへ!

最短2周目*から
オートモードが使用可能に

※ほ場の形状や刈取方法によっては、手動作業が複数回必要になる場合やオートモードがご利用いただけない場合があります。

YH6135,A
YH7135,A
(オートコンバイン)



プロモーション動画



製品情報

YH6135
YH7135



プロモーション動画



製品情報



SMARTPILOT

YH6135,A / **YH7135,A** / **YH6135** / **YH7135**

オートコンバイン 6条刈り / 138PS

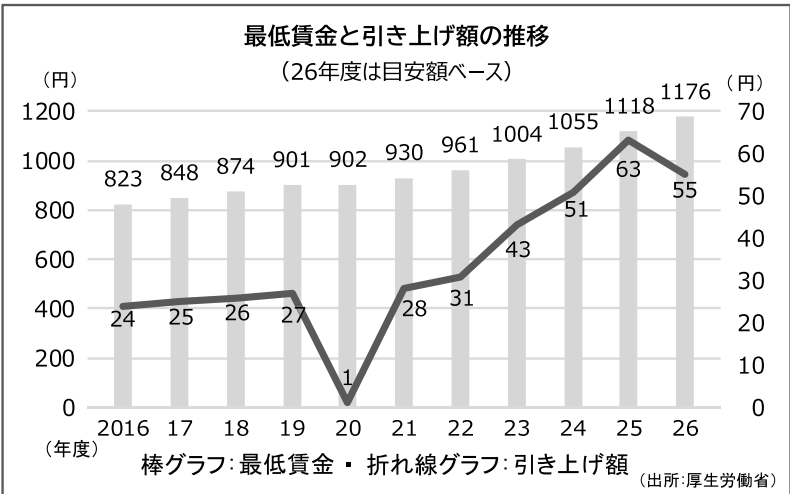
オートコンバイン 7条刈り / 138PS

6条刈り / 138PS

7条刈り / 138PS

ヤンマーアグリ株式会社 www.yanmar.com

26年度最低賃金の目安は1176円



▼前年比55円増・6年ぶり伸び縮小

▼現実路線で政府目標から後退

中央最低賃金審議会は7月28日、2026年度の最低賃金を前年度から55円引き上げ、全国平均加重を176円にすることを決定した。引き上げ額が前年を下回るのは6年ぶり。価格転嫁を十分できていない中小企業への配慮が背景にあるが、政府が掲げる「2020年代に1500円」の目標からは後退する形となった。

26年度の最低賃金の目安が決定した。引き上げ額は前年比4・9%増の55円。目安通りに改定されれば、全国平均の時給は現在の121円から1176円になる。

引き上げ額が前年度を下回るのはコロナ禍だった20年以來6年ぶりとなるが、引き上げ額55円は昨年の66円に続き、過去2番目に高い。労働者側は昨年度を超える75円の引き上げを求めたが、経営者側は原材料費高騰分の価格転嫁を十分にできていない中小企業などへの配慮を求め、最終的には現実路線で落ち着いた。今後はこの1176円を目安にし

て、都道府県ごとの地方審議会が最低賃金を決定し、10月以降順次適用される。

目安は、各都道府県をA～Cの3ランクに分けて提示。経済力の高い東京都や大阪府など6都府県のAランクの目安を54円（前年度63円）とし、28道府県のBランク（同63円）

と13県のCランク（同64円）の目安を56円とした。大都市に比べて最低賃金の水準が低い地方を底上げして地域間格差を縮小するため、25年度に続きBランクとCランクの引き上げ額をAランクより高く設定した。現状、都道府県ごとの最低賃金は最大で203円の開きがある。労働者側は格差是正を求めている、目安通りに改定されれば差は201円に縮まる。

昨年度は隣県への人材流出を懸念し、39道府県が国の目安を上回る引き上げを実施。しかし一方で、改定額の適用時期を遅らせる動きも目立ち、都道府県間で最大6カ月之差が生じた。

政府は「20年代に1500円」の目標を掲げているが、実現には6%を超える引き上げを毎年続ける必要がある。来年度以降も中小企業の経営状況が好転するかは不透明で、政府目標の達成は極めて難しいと思われる。

熊本地震による農業関係被害状況

8月3日11時現在

農林水産省は8月3日、熊本県で最大震度7を観測した地震による農林水産関係の被害状況（午前11時現在）を公表した。

農業関係は、熊本県では農地389カ所、農業用施設1970カ所の被害を確認。農地はひび割れなど、農業用施設は水路

外の5県合わせて農地10カ所、農業用施設14カ所で損傷が確認された。

農作物では梨、イチゴ、露地野菜、イグサに被害が出ている。

▽商組関係者の人的被害・建物の倒壊はなし

熊本大分農業機械商業協同組合に

農作物では梨、イチゴ、露地野菜、イグサに被害が出ている。

農地389カ所・農業用施設1970カ所

熊本大分農業機械商業協同組合は29企業が加盟しているが、全組合員企業及び商組事務局の従業員・家族全員の無事が確認でき、人的被害は一切なかった。建物も倒壊など使用できない損壊はなし

最低賃金引き上げが負担8割・
「大いに負担」は3年で倍増

中小企業における最低賃金の影響調査

び」とも言う。どちらも意味は同じだが、おにぎりの方が歴史は古

最低賃金の引き上げ
い、最低賃金もしくは
企業は、地方が46・6

カントリーエレベーターなどが損壊した。また、被害は九州全県に及び、熊本県以

く、「にぎり飯」から
変化したと言われてい
る。一方、「おむすび」
は江戸時代、身分の高
い女性が丁寧な言葉と

を負担に感じる中小企業が8割に及んでいる。日本商工会議所が今年3月に行った調査によると、「大いに負担を感じる従業員がいた」と地方のほうが高いが、都市部は昨年調査の32・4%から4・6ポイント増加。また、

望する都道府県が5割
 昨年度は改定額の適
 用時期を遅らせる動き
 が目立ち、1月以降に
 が1月以降だった6県
 については「10月」は
 26・8%にとどまり、
 「1月以降」が66・0

おにぎりの粒数

eチャンネル「BUZ 穂1株で作れることがZMAFF ばずまわかった。

コシヒカリなど一般
的な米の場合、玄米1
りの米粒は約2300

で、宴の際、庭に並べがやつてくる。米余り
た台に盛つて下級の者と言われる中でも、主

運した。「大いに負担」
は23年(16・8%)か
2年続けて上昇した
(24年度38・4%、25
員も3割(32・4%)
占めるものの、「正社

はほぼ5割に及ぶ。

望ましい発効日の時

「確保できた」企業は

年内に発効した41都道

ふ」で検証実験を行っている。単におにぎり
の米粒数を数えるだけ
ではなく、「稲穂1株
分の米でおにぎりが作
れるか」にもチャレン
ジしている。

動画時間は5分ほど
に編集しているが、実
際の作業は3人がかり
で3日間。気の遠くな
るような作業だ。見て
いて、とてもやりたい
とは思わなかった。

0.00粒が22グラム。粒。おにぎりの種類や
精米して糠を落とすと米の品種によってバラ
1割ほど減り20グラムつきはあると思うが、
になる。これを炊くと同省の調査結果と概ね
水を吸って重さが2・一致する。他の動画の
2倍になって44グラ結果も同じような数だ
ム。従って、ごはん1つたので、おにぎりの

に与えた酒食、特に卵食、米を作る農家は今年も多い。いくらに形に握り固めた強飯（こわめし）のことだ。卵に形が似ていることから「鳥の子」とも呼ばれたようだ。

おにぎりは「おむすほし」。

最低賃金で働く労働者は増加傾向
企業の負担増に伴い1社がかなり厳しいと感じている。

近年の大幅引き上げは都市部や正社員にも影響が拡大している。

「最低賃金を下回る従業員がいたため、賃金を引き上げた」中小

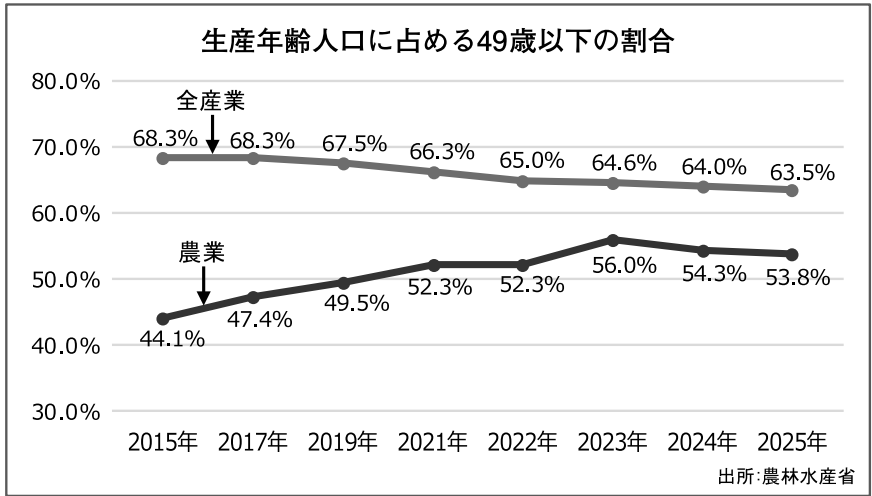
▽改定後最低賃金の発効日は1月以降」を希望した。

を越えており、昨年度調査時の27・2%から5・2ポイント増加した。

年度44・3%。

期について、25年度の
発効日が年内（10～12
月）だった41都道府県
では、例年の「10月」
が41・4％で、1月以
降（1～3月）が49・
3％。25年度の発効日
の原資確保に苦慮して
いることがうかがえる。

農業「49歳以下」の割合低下



農業に従事する15～64歳の生産年齢人口に占める49歳以下の割合が、2025年は53・8%で前年から0・5ポイント低下した。全産業平均とは10ポイント近い開きがある。23年までは増加傾向で、09年の38・9%以降、年々比率が上が

農業者の高齢化が叫ばれて久しいが、若手農業者の確保が進まない。64歳以下に限れば、49歳以下の割合は毎年上昇し続けていたが、2024年から減少に転じた。担い手や親元就農も49歳以下は減少しており、農林水産省は持続可能な農業実現に向け、具体的な数値目標を設定しているが、達成には不透明感が漂っている。

全産業平均との差大きく 担い手も親元就農も減少

イント高い。差は年々縮まっていたが、この2年は再び差が開いた。

農業に従事する15～64歳の生産年齢人口に占める49歳以下の割合が、2025年は53・8%で前年から0・5ポイント低下した。全産業平均とは10ポイント近い開きがある。23年までは増加傾向で、09年の38・9%以降、年々比率が上が

必要としている。基本計画では、30年に49歳以下の担い手農業者数を4・8万人とする目標も併せて掲げている。だが、25年は1011人(2%)減の4万6747人で、目標から遠ざかった。また、49歳以下の就農形態別の傾向を見ると、親元就農(新規自営農業就農者)は09年の1万3240人から24年の6110人と、15年で半分以上減少し

た。ただ、農業法人などに雇われて就農する新規雇用就農者は09年の5870人から24年は7050人に増えたほか、土地や資金を独自に調達する新規参入者も09年の930人から24年は2560人と大きく増加している。

▽65歳以上も含めれば49歳以下の割合は1割程度。そもそも、49歳以下の割合が23年まで上昇していたのは、対象範囲を64歳までに区切っていたからに過ぎない。65歳以上の農業者も含めれば、割合は1割程度まで下がる。実際、49歳以下の基幹的農業従事者数は毎年減少しており、農業が65歳以上の手で支えられている状況は10年以上変わっていない。

人手不足が全産業共通的課題である中、基本計画に掲げる目標達成は極めて困難を極める。◆農地面積は3・3万畝減少/このまま進めば目標未達に◆農地面積も25年から減少した。基本計画では農地面積を30年に412万ヘクタール確保する目標を定めているが、25年の農地面積は423・9万ヘクタール(暫定値)で、前年から3・3万ヘクタール減少した。荒廃農地からの再生などで増加

飼料米最大25万トン不足・主食用米は20県が増産意向

26年産作付意向調査

26年産水田作物の作付意向 (6月末時点)			
	26年産意向	比較	
		対前年	対4月末
飼料用米	2.6	-2.0	-0.7
米粉用米	0.6	+0.2	+0.2
加工用米	4.5	+0.1	+0.1
新市場開拓用米	1.0	+0.1	0
WCS用稲	4.3	-0.6	-0.2
麦	8.6	-0.9	-0.2
大豆	6.8	-0.7	-0.2
主食用米	136.0	-0.7	-0.3

(単位：万ha) (出所：農林水産省)

▽飼料用米は24年産の3分の1未満に作付意向を作物別にみると、飼料用米は25年産比で2万ヘクタール減の2万6000ヘクタール。4月末時点の生産意向からさらに7000ヘクタール減少し、24年産の3分の1未満に落ち込んだ。同省は、ブランド化など畜産物の差別化に必要な飼料用米の量を30万～40万トンとしており、15万～25万トン不足しているが、不足分を生産するには、2万5000～4万ヘクタール増やす必要がある。不足が深刻化した25年産では、畜産農家は餌の変更などを迫ら

れた。米粉用米は、25年産比で2000ヘクタール増の6000ヘクタールとなる見通しだが、需要量の6万トンには3万トン(6000ヘクタール相当)足りない。発酵粗飼料(WCS)用稲は25年産比で6000ヘクタール減、麦は同9000ヘクタール減、大豆は同7000ヘクタール減となった。いずれも4月末時点から2000ヘクタール減少した。

一方、味噌や菓子などの原料となる加工用米は、前年産から1000ヘクタール増の4万5000ヘクタールとなる見込み。4月末時点では3000ヘクタール減にとどまった。生産量に換算すると732万トン

▽主食用米の生産量は732万トン・適正生産量を21万トン上回る主食用米の作付意向は136・0万ヘクタールで、前年比7000ヘクタール減少し、4月末時点からは3000ヘクタール減にとどまった。生産量に換算すると732万トン

相当となり、国が示す適正生産量を21万トン上回った。このまま進めば、来年6月末の民間在庫量は過去最多となる263万～281万トンに膨れ上がり、需給が一層緩和する恐れがある。

▽広島県中古農業機械モデルフェア(7月10日)

広島・福島中古農機フェア開催 来場者は前年並みもトラクタ不足の影響大

もあつたが、荒廃、転用、自然災害などによる減少が上回った。仮にこの割合で減少が続けば、412万ヘクタールの目標を下回る。

今年もJA全農ひろしま広島農業技術センターで開催された。同フェアは2023年から金曜日のみの1日開催に変更している。昨年、出展台数が1000台を割ったが、今年も全国的なタマ不足の影響から出展台数は70台で、売上金額は前年比58%の1750万円となった。成約率が落ち込んだ。成約率が落ち込んだ。成約率が落ち込んだ。

▽第24回福島県中古農機フェア(7月16・17日)

購 買 情 報

ホシザキ

NEW
玄米保冷库
ペンギンっ庫

周囲温度 40℃ 対応

猛暑に負けない
保冷库、誕生。

夏場の厳しい環境でも設置可能

昨今の気温上昇に伴い、高温環境でも対応できるユニットを採用し、周囲温度 40℃までの環境でも使用可能な機種をラインナップに追加しました。夏場の猛暑日にも安心してご利用いただけます。

玄米保冷库のその他の機能

安心のドアロック

お手入れ簡単な内装樹脂仕様

お手入れいらずのフィルターレス ドレンレス

機能 オプション

HRA-14GD1-Z40

HOSHIZAKI

LINE UP 周囲温度 40℃対応機種

6 8 14

機種名	HRA-6GD1-Z40	HRA-8GD1-Z40	HRA-14GD1-Z40
電源	単相100V 50/60Hz 消費電力4.2kW(4.2kVA)	単相100V 50/60Hz 消費電力4.2kW(4.2kVA)	単相100V 50/60Hz 消費電力4.2kW(4.2kVA)
消費電力	冷房時1.82/1.95kW	冷房時1.84/2.00kW	冷房時1.85/2.00kW
外形寸法	幅500×奥行781×高さ1600(1590~1620)mm	幅500×奥行783×高さ1481(1470~1492)mm	幅500×奥行783×高さ1541(1531~1552)mm
庫内寸法	幅300×奥行670×高さ1200mm	幅370×奥行670×高さ1040mm	幅370×奥行670×高さ1400mm
玄米貯蔵量	360L	434L	665L
玄米乾燥量	玄米30kg×5日	玄米30kg×5日	玄米30kg×14日
庫内照明	LED5mm、数量60個、その他40個	LED5mm、数量60個、その他40個	LED5mm、数量60個、その他40個
庫内温度制御	マイコン制御(3~10℃調節可能)	マイコン制御(3~10℃調節可能)	マイコン制御(3~10℃調節可能)
扉	アジエ30分(全開扉)2重扉仕様	標準扉55~75mm調節可能	標準扉55~75mm調節可能
付属品	ハンドル、キックハンドル×2、フック×2、組み立て説明書、組み立て、パッド、コンベックス×2	ハンドル、キックハンドル×2、組み立て説明書、組み立て、パッド、コンベックス×2	ハンドル、キックハンドル×2、組み立て説明書、組み立て、パッド、コンベックス×2
使用条件	周囲温度4~40℃ 庫内湿度 玄米貯蔵時±10%以内	周囲温度4~40℃ 庫内湿度 玄米貯蔵時±10%以内	周囲温度4~40℃ 庫内湿度 玄米貯蔵時±10%以内

※1 収納量は扉の開閉方法によって異なります。この数値は幅 350 × 奥行 600 × 高さ 170mm の玄米袋で算出しています。
※2 外形寸法の単位はハンドルを基準とします。

安全に関する注意

保証

ホシザキ株式会社

全国農機商協同組合連合会・推薦品

カタログ登録番号 HZ905-26A0

このカタログの記載内容は2026年7月現在のもので、

イナダ

ヤマト自動車

近年、農作業中の
クマ遭遇事故が
増えています!

あなたはクマ対策
できていますか?

ベアーガード
BEAR GUARD

光と音で
人の存在を知らせる
次世代クマ対策デバイス

草刈り作業 果樹園管理 山林作業 水路点検

遭遇してからでは遅い。
遭遇しないための対策へ。

展示会限定!
実機デモ
実施中!

その場で
体験できます

好評
発売中!

農家の安全対策は今や必須の提案です
草刈機・管理機のご購入者へ
中山間地域の農家様へ
組合員様の安全対策として

お問い合わせは
株式会社イナダ
〒969-1302 青森県三好市豊田町豊田 3515-3
支 店 本 店 ☎ 017-6875-62-5858 代 ☎ FAX 0875-62-5816
E-mail info@inadacorp.co.jp URL https://www.inadacorp.co.jp

販売元：株式会社ホワイトハウス

2026 7.8月 ヤマト YAMATOの推し!

世界最小クラスの小型ヘッド

丸形ミニマムヘッドラチェットハンドル Seednew.

●丸(ラウンド)形状にすることで、周囲の干渉物を避けやすく、多方向からアプローチが可能。
●小型化しながらも高トルク負荷に耐える強度を確保。
●ラチェット部はJIS基準の約1.8倍の強度で、本締めが可能。
●トルクを掛けやすく、操作しやすいセミロングタイプ。

6.3mm S-CR2900
ヘッド部径:φ18.5mm / 全長:128mm / ヘッド部厚さ:11.7mm

9.5mm S-CR3900
ヘッド部径:φ26.7mm / 全長:227mm / ヘッド部厚さ:16.9mm

12.7mm S-CR4900
ヘッド部径:φ33.7mm / 全長:280mm / ヘッド部厚さ:22.2mm

リペアキット

ギヤは消耗品です。ギヤ磨りなどの異常が発生しましたら使用を中止し、ヘッド内部を交換してください。

6.3mm S-CR2900RK
9.5mm S-CR3900RK
12.7mm S-CR4900RK

先端 6mm の薄さで、プーリーにも干渉しない!

薄型オフセットメガネレンチ K&D KOTO

同じ方向のオフセットで
回しやすい!

デンショナー作業におすすめ!

ご希望の NW-2121 に揃えて
新サイズが登場!

17mm NW-1717
全長:460mm

19mm NW-1919
全長:480mm

●オフセット構造により、ベルト着脱スペースを確保し、作業性が向上。
●長さもたっぷりあり、楽にデンショナーのバネを締めることが可能。
●材質にSCM材を使用しており、耐久性が抜群。

狭い隙間にすりと入り、
プーリーなどにも干渉しない!

NW-2121 (21mm)
動画

メガネレンチを水平に保てるので
しっかり力を掛けやすい。

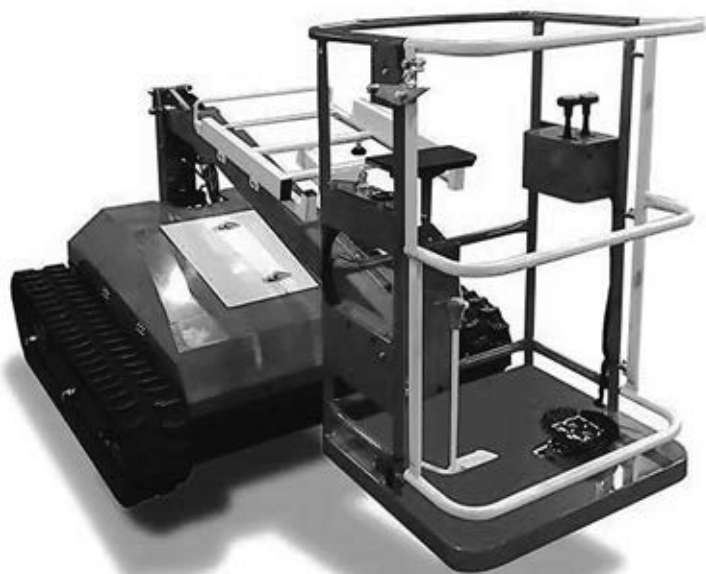
反対方向のオフセット

反対方向のオフセット

「電動作業台車」と「リフト式電動高所作業車」が環境省の補助対象機械に



電動作業台車「MF B-06」



リフト電動高所作業車「MF H-G2500 B」

農業の脱炭素化を後押し 制度活用で従来機との 価格差の2／3を補助

丸山製作所

株式会社丸山製作所の電動作業台車「MF B-06」およびリフト式電動高所作業車「MF H-G2500 B」の2機種が、2026年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（運輸部門等の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業）のうち、農業機械の電動化促進事業」の補助対象農業機械として登録された。

本事業は環境省の補助事業として、農業機械の電動化によるCO₂排出削減と、農業分野における脱炭素化の推進を目的として実施されている。26年度の補助事業者募集は7月7日（火）より開始されており、対象要件を満たした農業者等は補助金を活用して、石油系燃料を用いる従来機との価格差の2／3相当額が補助され、対

象機械を導入することができ。

◇補助対象農業機械
▽電動作業台車「MF B-06」
運搬車カテゴリーの補助対象農業機械として登録。MF B-06は、リフト作業・棚下作業・運搬作業に対応する電動作業台車。荷台床面地上高を約500（925 mm）まで調整でき、乗り降りや走行時の安全性にも配慮した設計を採用している。また、メンテナンス

フリーバッテリーと充電器を内蔵し、電動化による低騒音・低振動を実現。見やすい操作パネルやUSBポートが標準装備されている。
▽リフト式電動高所作業機「MF H-G2500 B」
高所作業機カテゴリーの補助対象農業機械として登録。MF H-G2500 Bは、果樹栽培における収穫やせん定などの高所作業を支援するバッテリーモ

ーター式高所作業機。バッテリー駆動により低振動・低騒音で排気ガスを排出しないため環境負荷低減を実現するとともに、エンジンを搭載しないため燃料管理などのエンジン起因のトラブルがない。簡単な走行操作とコンパクトな機体設計により、作業者の負担軽減と作業効率向上がされている。

また、バッテリーの満充電で約2日間の作業が可能で、農業現場における電動化の選択肢として環境負荷低減にも寄与している。

◆補助対象機械について
2026年度「農業機械の電動化促進事業」は、農業機械の電動化によるCO₂排出削減を目的とした補助

事業。近年、農業分野も環境負荷低減への取り組みが求められており、電動農業機械は作業時の排出ガスを発生させないだけでなく、騒音低減や作業環境の改善といったメリットも期待されている。補助対象農業機械として登録された製品を導入する際、一定の要件を満たした農業者等が補助金申請を行うことができる。募集期間は26年7月7日（火）～11月30日（月）まで。

◆補助対象機械について
同事業の補助対象機械は丸山製作所の2機種以外にも数多くあり、今後も順次追加される。詳細は「農林水産・食品産業技術振興協会」のホームページをご参照下さい。

食と農と大地のソリューションカンパニー ISEKI



THE NEW GENERATION

新たな領域へ。

JAPAN

BJ65 (65PS) BJ74 (74PS)
BJ90 (90PS) BJ105 (105PS)



ISEKI 井関農機株式会社

2026 年実績 中古農機フェア実績（兵庫・広島・福島）

2026 年実績

	兵庫県 (7/9-10開催)			広島県 (7/10開催)			福島県 (7/16-17開催)		
	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率
トラクタ	42	31	73.8%	4	2	50.0%	25	19	76.0%
コンバイン	17	14	82.4%	6	4	66.7%	10	6	60.0%
田植機	28	25	89.3%	7	3	42.9%	20	17	85.0%
管理機・作業機等	124	57	46.0%	22	8	36.4%	124	82	66.1%
ハーベスタ・バインダ	0	0	-	2	2	100.0%	0	0	-
運搬車	0	0	-	3	2	66.7%	0	0	-
その他(防除機・建機等)	143	56	39.2%	26	13	50.0%	190	137	72.1%
合計	354	183	51.7%	70	34	48.6%	369	261	70.7%

成約金額/前年比	¥96,780,000	103.8%	¥17,500,000	58.0%	¥74,758,870	70.9%
----------	-------------	--------	-------------	-------	-------------	-------

過去 2 年間の実績

		兵庫県			広島県			福島県		
		出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率
トラクタ	2025	44	31	70.5%	12	7	58.3%	37	29	77.1%
	2024	49	32	65.3%	28	9	32.1%	41	33	77.1%
コンバイン	2025	26	18	69.2%	21	10	47.6%	14	13	42.1%
	2024	45	22	48.9%	23	10	43.5%	23	12	42.1%
田植機	2025	42	28	66.7%	8	3	37.5%	24	14	44.2%
	2024	51	35	68.6%	12	7	58.3%	33	16	44.2%
管理機・作業機等	2025	119	57	47.9%	16	12	75.0%	163	112	88.9%
	2024	102	54	52.9%	13	9	69.2%	56	45	88.9%
ハーベスタ バインダ	2025	0	0	-	4	3	75.0%	0	0	66.7%
	2024	0	0	-	2	2	100.0%	6	1	66.7%
運搬車	2025	0	0	-	6	2	33.3%	14	6	50.0%
	2024	0	0	-	1	1	100.0%	5	5	50.0%
その他 (建設機械等)	2025	127	68	53.5%	27	13	48.1%	140	90	68.3%
	2024	111	42	37.8%	27	14	51.9%	203	124	68.3%
合計	2025	358	202	56.4%	94	50	53.2%	392	264	67.3%
	2024	358	185	51.7%	106	52	49.1%	367	236	64.3%

成約金額・前回比	2025	¥93,264,020	105.1%	¥30,150,000	89.3%	¥105,391,335	97.4%
	2024	¥88,712,300	103.2%	¥33,780,000	123.9%	¥108,256,020	82.1%

農業に、
起業家精神を。

GROUND BREAKERS
AWARD

募集

農業の未来を
切り拓く挑戦者、

農業経営者によるコンテスト
エントリー受付中！

応募受付中 8/31 まで 締切

就農歴・栽培規模不問

コンテスト未経験者歓迎！

詳細・エントリーはこちら





NEWS PICKS

×

